

## 審議会の要旨記録

会議の名称	令和7年度第2回松伏町子ども・子育て支援審議会
開催日時	令和8年2月16日（月） 14時00分～16時00分
開催場所	松伏町役場本庁舎2階201会議室
出席者・出席数	委員8名 若盛（正）会長、竹森副会長、石井委員、今井委員、庄野委員、小熊委員、宮本委員、若盛（清）委員
欠席者・欠席数	委員2名 栗原委員、中本委員
担当課職員	事務局：4名 すこやか子育て課 桐課長 互主幹 齋藤主査 鳥井主査
会議次第	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議事 （1）子ども・若者の意識と生活実態調査（こどもの貧困対策、子ども・若者調査）結果について （2）子ども会議の実施報告について （3）子ども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）について （4）令和8年度の教育・保育施設 利用定員について （5）その他 4. 閉会
配布資料	【資料1-1】 子ども・若者の意識と生活実態調査報告書（案） 【資料1-2】 子ども・若者の意識と生活実態調査報告書【記述・自由記述集】 【資料2】 子ども会議報告書 【資料3】 子ども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）について 【資料4】 令和8年度の教育・保育施設 利用定員について
会議録の作成方法	録音データを使用した要点記録

審議会の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項等
司会（事務局）	1 開会
若盛（正）会長	2 会長あいさつ この会では、委員からの建設的な意見をいただきたい。アンケートの報告からは率直な生の声を知ることができた。これらの意見がこれからの町のこどもに向けた施策に反映するよう意見をいただきたい。
司会（事務局）	事務局紹介 委員の出席状況を報告、本日の会議が成立することを確認した。
	3 議事 (1) こども・若者の意識と生活実態調査（こどもの貧困対策、こども・若者調査）結果について 【資料1-1】こども・若者の意識と生活実態調査報告書（案） 【資料1-2】こども・若者の意識と生活実態調査報告書【記述・自由記述集】 こどもとその保護者、若者を対象とした調査について調査結果を事務局より説明した。
石井委員	スポーツを楽しむことのできる場所や公園の活用などが充実すると良いと感じた。地域の草刈りについて、シルバー人材センターの方の話では、依頼を受けた時間の中で作業をするため、対象の範囲が終わらなくとも作業が終了する。しばらくして再度依頼があるころには、刈ったところもまた草が生えているというイタチごっこのような状態で雑草の管理は難しいと聞いた。また、給食費など保育園の利用料金も4月には上がるという話があり、きょうだいがいると負担が大きいと感じている。少しでも負担が減り、生活に余裕が持てるようになってほしい。
庄野委員	相談を受けている中で、きょうだいがいる方の上のこどもの負担が大きいと感じている。支援の方法を見直していくことが必要かもしれない。
若盛（清）委員	今回のこどもを対象としたアンケートの対象年齢は、他の自治体も同様な年齢で調べているのか。
事務局	この年齢を対象としている調査は比較的多いが、全てではない。今回は、公立小中学校に協力をいただけることとなり、学年を限った。
若盛（清）委員	授業の時間に実施したのか。
事務局	授業の前の時間などを活用し実施した。
竹森副会長	こどもの意見は自分が感じているところと一致した。一方、保護者の意見からはこどもや教育に関わる経済的な負担に苦しんでいると感じた。給食費については毎月一人当たり6,000円であり、きょうだいがいればその人数分増える。

<p>若盛（正）会長</p> <p>事務局</p>	<p>修学旅行や社会科見学にも費用は掛かっている。そうした負担が少しでも減れば、という思いが給食費の無償化というキーワードになっていると思う。また、小学生の居場所に対する回答から、居場所を求めていると同時に、家庭は居場所であると認識していることも重要だと感じた。保護者に対しても、家庭は居場所であることをさらに認識していただき、家庭教育の機会に活用していきたい。</p> <p>このアンケートは松伏町の実情であり、どのように活用していくかが最も重要である。町としてこのデータを福祉、教育、総務、税務などにどのように生かすのか。町長や課長にも来ていただき協議すべきと感じている。</p>
<p>若盛（正）会長</p>	<p>今回の会議の内容と共にこの調査についても報告する。</p> <p>このアンケートには、経済的な負担のことや施設のことも町民の意見が表れている。予算の問題が指摘されるが、優先順位はつけられるはずである。何から始めるべきなのかを検討し、早期に取り組んでほしい。</p>
<p>今井委員</p>	<p>こどもや保護者を対象とした調査ではあったが、この結果を通して交通に関する課題も見えてきた。例えば高齢者の運転免許証の返納についても、返納させた後に生活に必要な移動手段をどうするのか。松伏町はみどりも豊かで空気がきれいだということは残しつつも、経済的支援だけでなく、こどもや高齢者、障害者なども生活しやすいと感じるようなソフト面での支援も必要だと感じた。</p>
<p>小熊委員</p>	<p>学童クラブに携わっているが、入室者は年々減っている。アンケート等を実施していないので理由は不明だが、今回のアンケート結果にあるような経済的負担も考えられるように感じた。そうであるなら、本来であれば利用したい家庭が利用できていないのではないかと懸念がある。また、夏休みは1日保育があるが、暑すぎて室内でのみ過ごすことになることこどもたちもストレスがたまりトラブルがふえる。体育館にエアコンを入れてほしいという意見が多くあったが、実現できれば、こども達が広いスペースで活動することができるのではないかと感じた。また、居場所と感じている場所として学童との回答があった。学童は学校とは違い、勉強や運動の苦手といったことに関係なく、過ごせる場所として意義があると感じた。</p>
<p>若盛（正）会長</p>	<p>学童については、指導員や施設の面積、エアコンのことなど問題はある。こども達にとって必要な場所として、町にも考えてほしい。事実を受け止め、何かから取り組んでいくのかを論議してほしい。生きたアンケートにしてほしいと考える。</p>
<p>若盛（清）委員</p>	<p>話をする相手は母親が多いこと、相談する相手は親が多いとの結果は良いと思うが、一方で学校やカウンセラーの活用がさらに増えるよう、取り組む必要があると感じた。</p>
<p>竹森副会長</p>	<p>今回のアンケート結果を、職員や校長会においても活用したいと考えている。どのような扱いとなるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>アンケートの回答を令和7年9月の校長会で依頼した際にも、結果をフィードバックしてほしいと聞いている。この結果を精査し、計画書には反映していく。</p>

<p>竹森副会長 事務局</p>	<p>データ自体を学校現場でも活用したいと考えているが、可能か。 この報告書の内容は、ホームページにも掲載されるものなので、グラフやデータを使うことは可能である。自由記述については個人情報も含まれるため公表しない。</p>
<p>若盛（正）会長  事務局</p>	<p>居場所について「知らない」という意見が多くあったが、伝える工夫をしてほしい。町内の保育園や幼稚園、各学校の活動の内容を町民に発信することの必要性についても話が出ている。それぞれに連携を取りながら、住民本位の活動ができるようになってほしい。予算が無いからできないということとで終わらせずに、工夫しながら実行してほしい。</p>
<p>事務局  若盛（正）会長</p>	<p>居場所については、現在子ども食堂が2か所あり、やりたいと意向を示している方もいる。3月26日にこれらの団体の方を集めた会を開きたいと考えており、ネットワークを広げていきたい。</p> <p>（2）こども会議の実施報告について 【資料2】こども会議報告書 事務局より説明 継続してほしいと感じた。</p>
<p>宮本委員 事務局 若盛（清）委員 若盛（正）会長</p>	<p>（3）こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）について 【資料3】こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）について 事務局より説明 どれくらいの利用を見込んでいるのか。 他自治体の事例では3園で一桁の利用人数のようだ。 この制度の意義自体に疑問がある。 心配することもあるが、こどもにとって良いものにしてほしい。</p>
<p>若盛（正）会長</p>	<p>（4）令和8年度の教育・保育施設 利用定員について 【資料4】令和8年度の教育・保育施設 利用定員について 事務局より説明 承認された。</p> <p>（5）その他 社会福祉法人 桜福社会 幼保連携型認定こども園 こどものもりの遊戯室の建て替えについて 事務局より説明 昭和49年の建築であり、老朽化により建て替えを計画している。</p>
<p>若盛（正）会長</p>	<p>4 閉会</p>